

船舶事故等調査報告書

平成22年2月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第350号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年9月30日 10時40分ごろ	
発生場所	徳島県 ^{いまきれ} 今切港	
事故等調査の経過	平成21年11月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	液体化学薬品ばら積船 第21あずま、396トン 140344、浪花汽船有限会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	推進器翼に曲損及び欠損	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、苛性ソーダ約900トンを積載し、船首約3.2m、船尾約4.6mの喫水で、今切港において離岸作業中、平成21年9月30日10時40分ごろ、通常とは異なる船体振動を複数の乗組員が感知した。	
気象・海象	気象：天気 曇り時々雨、風向 南、風力 3 海象：潮汐 低潮	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、今切港において浅瀬が存在する岸壁付近で離岸作業中、操船が適切でなかったため、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が今切港において離岸作業中、操船が適切でなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	